

“エクジストリプルR”組立施工マニュアル

- 新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当マニュアルをお読みください。
- 埋設物（ガス管・水道管）の有無を確認の上、柱位置を設定してください。
- サイドパネルをお取り付けいただく場合は、サイドパネル枠の梱包内取付マニュアルを先にご覧ください。

■ 工事店様へのお願い

- 新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を、十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。
 - (1)モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
 - (2)モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
 - (3)モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カ

ルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。


- (4)施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけませんと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
 - (5)アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
 - (6)腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- みだりに改造等の仕様変更は避けてください。
 - 施工終了後、マニュアルは施主様へお渡しください。

■ 施工上の注意

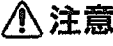

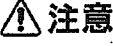
- 商品の施工については必ず取付取扱いマニュアルに従ってください。また、施工完了後にマニュアルを施主様にお渡しください。
- カーポートには一般地域用（積雪20cm相当）や積雪地用（積雪50cm相当、積雪100cm相当）などがあります。設置する地域の気象条件に合わせて、適応したものをご使用ください。
- 屋根の雪などが落下の恐れのある場所、または強風が屋根を吹き上げる恐れのある場所への設置はしないでください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
- シャッターボックスや庇の下には設置しないでください。離して設置していただくか、逆側に水勾配をつけるようにしてください。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

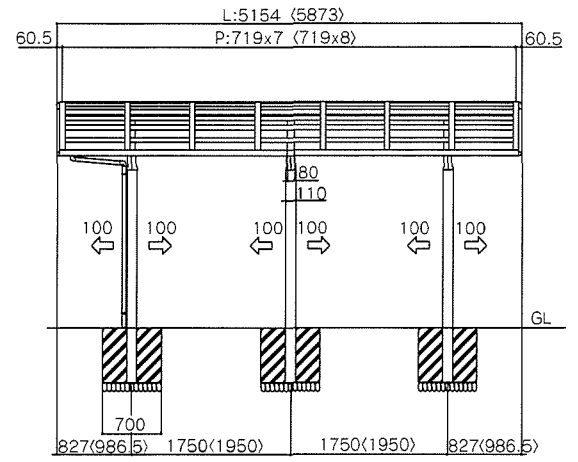
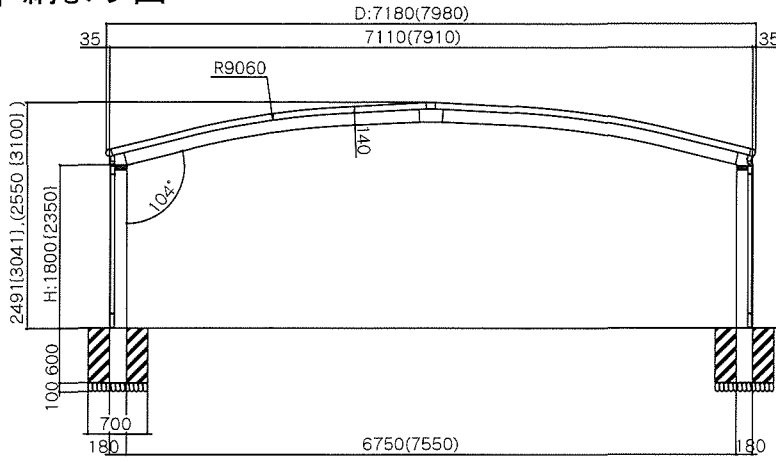
お願いしたいこと…このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、つぎのような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

注意事項……………

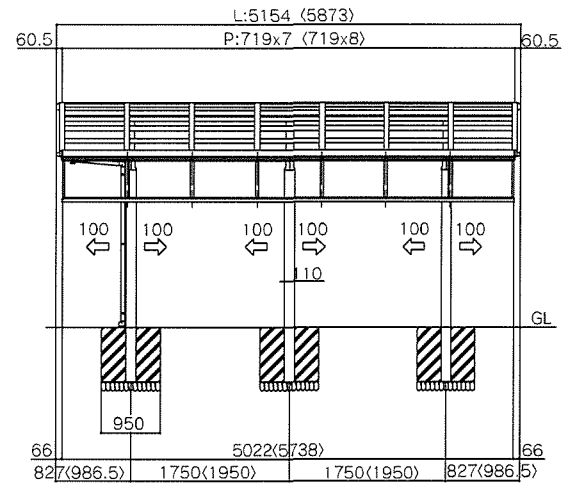
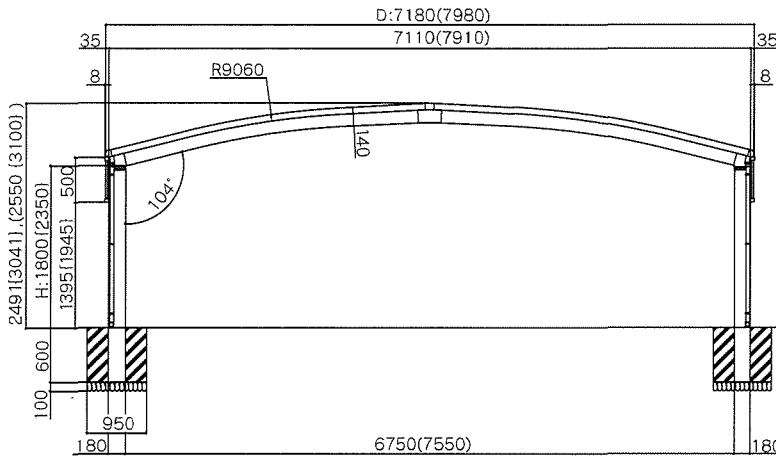
-  **注意** ●積雪が20cmを越える前に雪下ろしをしてください。
 - ・屋根が雪の重さでつぶれ落ちる危険があります。
-  **注意** ●当製品は地上設置高さ5m以下（1階設置）、積雪荷重：600N/m²、耐風圧強度：風速（Vex）=34m/s相当に耐える仕様となっています。常時風当たりの強い場所（崖縁等）、又は軟弱地盤での設置は避けてください。
-  **注意** ●当製品は簡易型車庫です。物置き、遊び場、或いは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造、変更をしないでください。

■ 納まり図



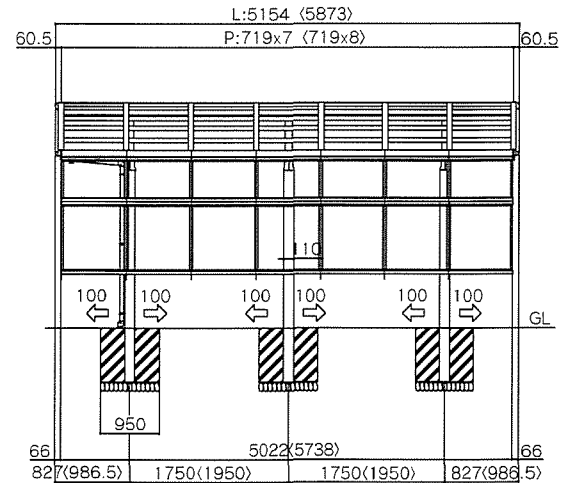
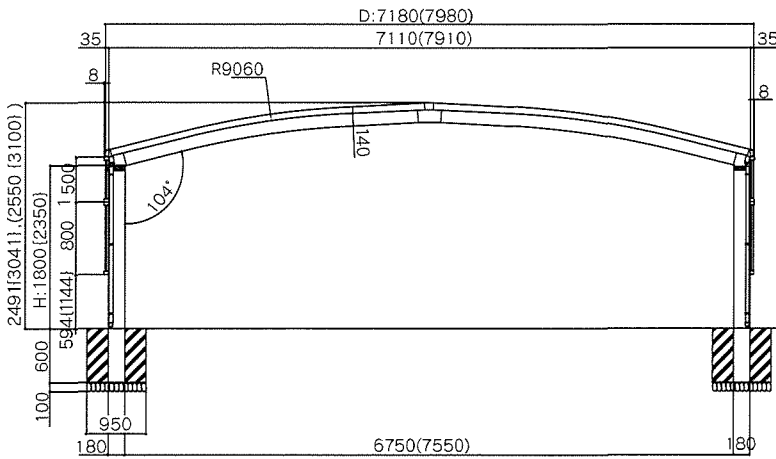
本図はD:72,H:18,L:51を示す。
 () 内寸法はD:80を示す。
 { } 内寸法はH:24を示す。
 < > 内寸法はL:58を示す。
 ⇨ 印は柱移動範囲を示す。

■ サイドパネルH:05納まり図



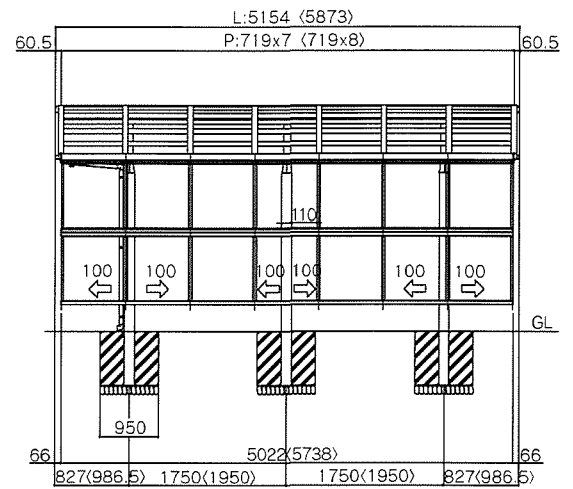
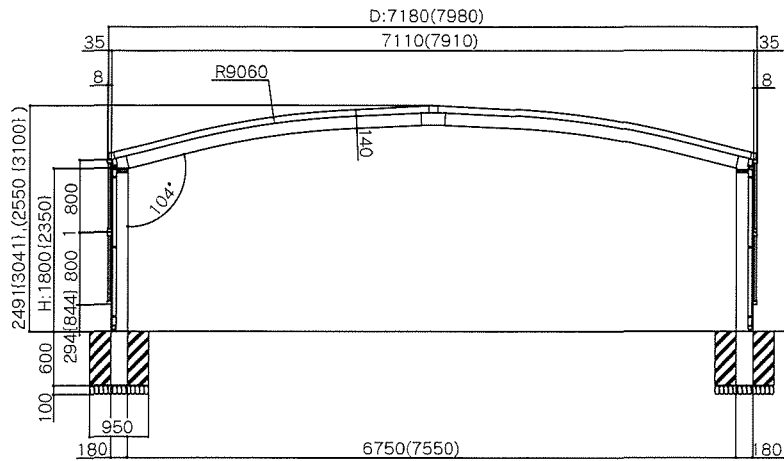
本図はD:72,H:18,L:51を示す。
 () 内寸法はD:80を示す。
 { } 内寸法はH:24を示す。
 < > 内寸法はL:58を示す。
 ⇨ 印は柱移動範囲を示す。

■ サイドパネルH:13納まり図



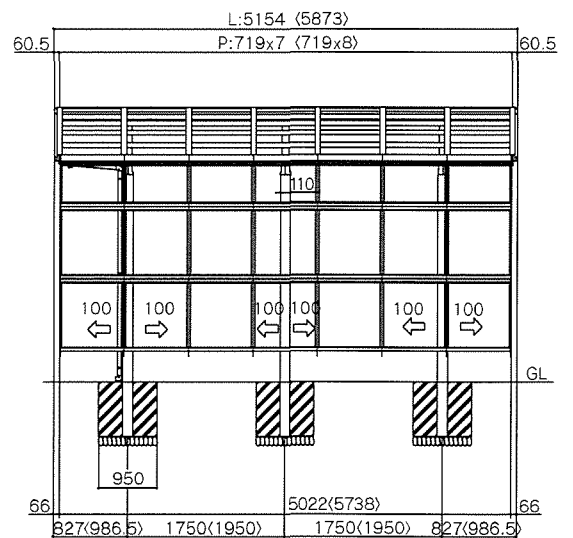
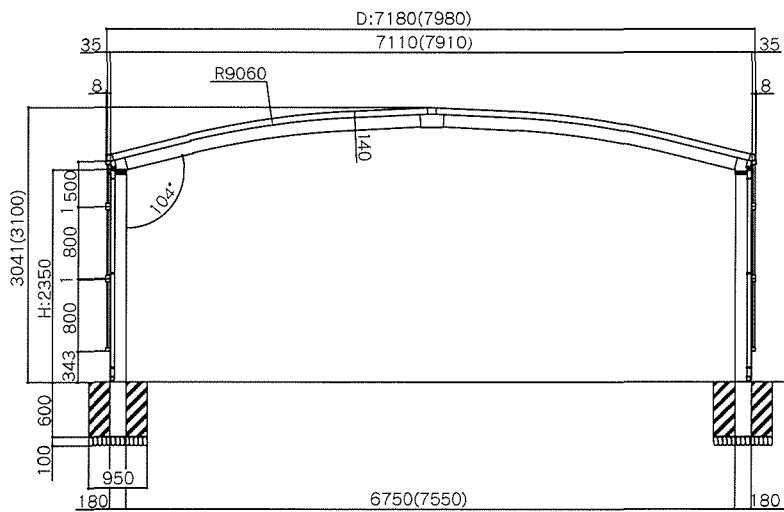
本図はD:72,H:18,L:51を示す。
 () 内寸法はD:80を示す。
 { } 内寸法はH:24を示す。
 < > 内寸法はL:58を示す。
 ⇨ 印は柱移動範囲を示す。

■ サイドパネルH:16納まり図



本図はD:72,H:18,L:51を示す。
 () 内寸法はD:80を示す。
 { } 内寸法はH:24を示す。
 < > 内寸法はL:58を示す。
 ⇄ 印は柱移動範囲を示す。

■ サイドパネルH:21納まり図



本図はD:72,H:24,L:51を示す。
 () 内寸法はD:80を示す。
 < > 内寸法はL:58を示す。
 ⇄ 印は柱移動範囲を示す。

■ 部材拾い出し表

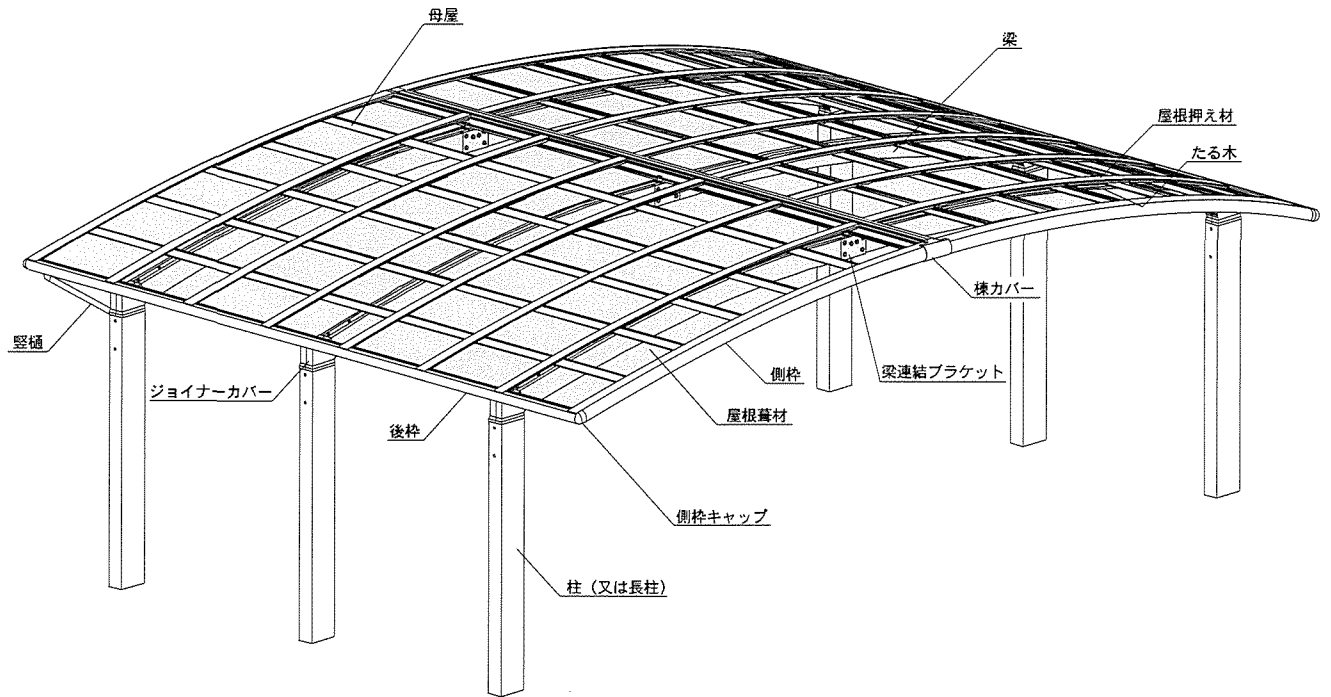
製品名称		製品記号	単 体			
			L51		L58	
			D72	D80	D72	D80
柱	H:18用	(S) ASP 01 02	6		6	
	H:24用					
梁	D:36用	(S) ASN 11 12	6		6	
	D:40用		6		6	
たる木	L:51用	(S) ASN 21 22 23 24	2			
			2			
	L:58用				2	
					2	
側枠	D:36用	(S) ASN 31 32	1		1	
	D:40用		1		1	
後枠	L:51用	(S) ASN 61 62	1 1			
	L:58用				1 1	
棟	L:51用	(S) ASN 51 52	1 1			
	L:58用				1 1	
母屋セット 3本入り 4本入り	L:51用	(S) ASP 71 72 73 74	2 2			
	L:58用				2 2	
	L:51用		1 1			
	L:58用				1 1	
標準部品箱		(S) ASN 91	1	1	1	1
柱梁ジョイナー		(S) ASP 03	6	6	6	6
屋根葺材			7		8	
			7		8	
梱包数合計			34		35	

注)・□ はいずれかを拾い出して下さい。

■ 部品箱内容明細

用途	部品名	標準部品箱
		(S) ASN 91
	組立・施工マニュアル	1
	お施主様向けお取扱いの手引き	1
1 柱の施工	アンカー棒	6
2 3 ジョイナー・梁の取付け	M8×20六角フランジボルト	48
	前後枠ピース	12
	φ4×25トラス(タッピン3種)	12
	φ4×12トラス(タッピン3種)	12
4 ジョイナーカバーの取付け	ジョイナーカバーR	6
	ジョイナーカバーL	6
	φ4×19ピアス	36
5 止水パッキンの取付け	止水パッキン	4
	コーキング剤	1
6 棟・後枠・母屋の取付け	M8×20六角ボルト	12
	M8六角フランジナット	12
	横材ブラケット	30
	φ4×12トラス(タッピン3種)	62
7 8 側枠・たる木の取付け	φ4×19ピアス	130
	前後枠キャップ	4
9 梁の連結	梁連結ジョイント	6
	M8×100六角ボルト	18
	M8用平ワッシャー	36
	M8用スプリングワッシャー	36
	M8用六角袋ナット	18
10 棟カバーの取付け	棟カバー	2
	φ4×13ゴムワッシャー付テクスビス	4
11 面材及び押さえ材の取付け	φ4×35セルフドリリングビス	18
雨樋取付け用	雨樋部品セット	2

■ 斜視図および各部名称



■ 組立て手順

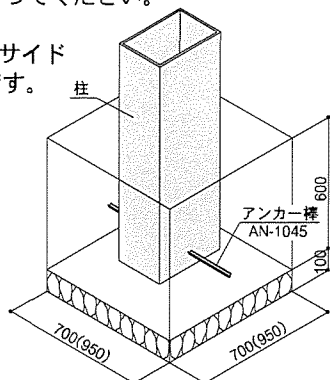
◆ 本体片側の組立

- はじめに、本体片側の骨組みを行ないます。(①～⑧まで)

① 基礎の施工

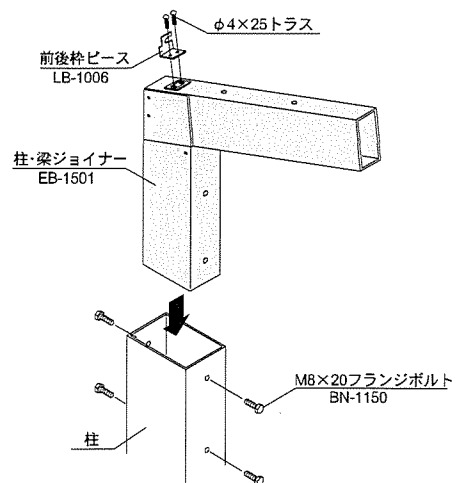
- ① 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- ② コンクリートの施工は、骨組み完了後に行なってください。
- ③ 柱の固定位置は納まり図を参照してください。
- ④ 必ずアンカー棒を使用してください。
- ⑤ 基礎寸法及び埋め込み寸法は、図の寸法以下にならないように施工してください。
- ⑥ 柱の移動は範囲を守ってください。

※本図の()内寸法は、サイドパネル付きの場合です。



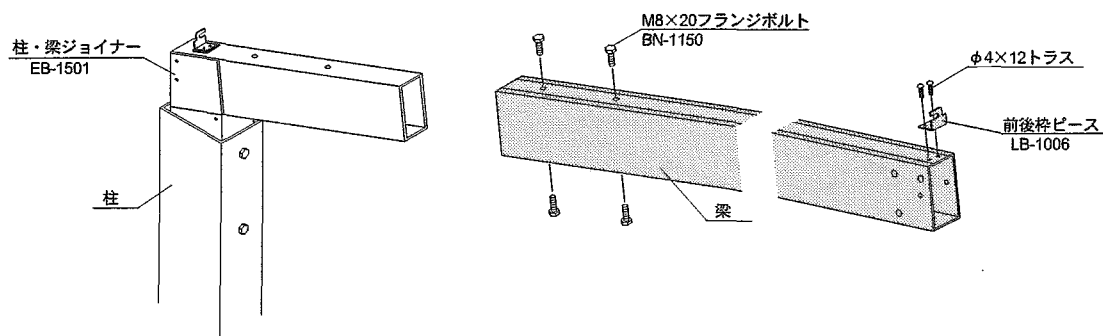
② ジョイナーの取付け

- ① 柱・梁ジョイナーを柱に差し込み、ボルトで固定してください。
- ② 柱・梁ジョイナーに前後枠ピースを取付けてください。



3 梁の取付け

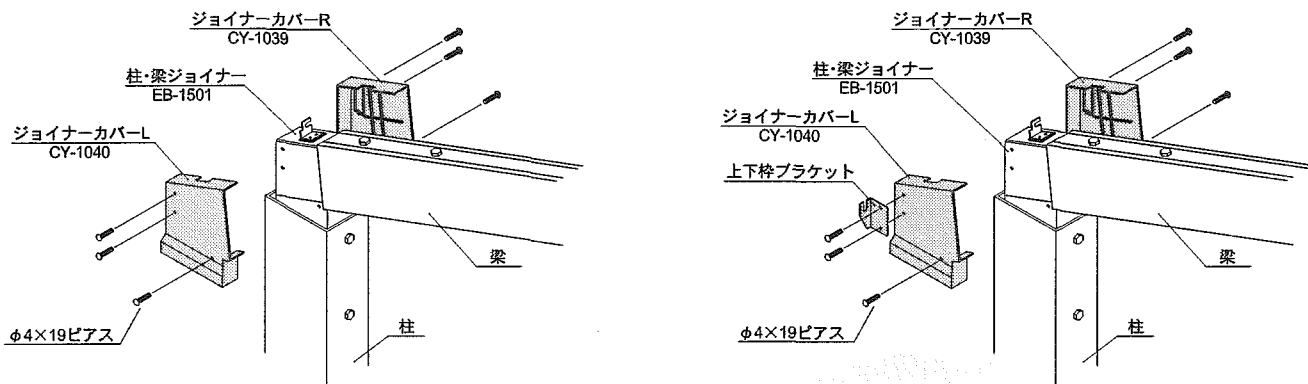
① 梁に前後枠ピースを取付け、柱・梁ジョイナーに差し込み、ボルトで固定してください。




4 ジョイナーカバーの取付け

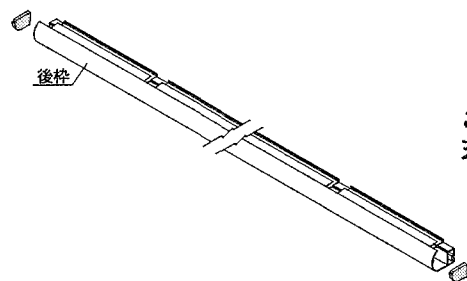
① ジョイナーカバーを柱・梁ジョイナーに固定してください。

オプション：サイドパネルを取付ける場合

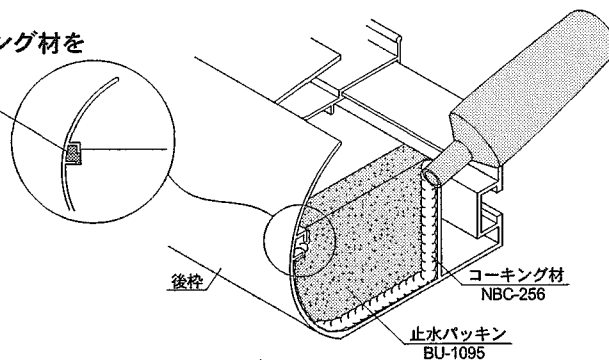


5 止水パッキンの取付け

- ① 図のように後枠の両端に止水パッキンを取付け、コーキング材を十分に施してください。
コーキングが不十分ですと雨漏りの原因となりますので注意してください。
- ② 後枠に落とし口と塞ぎ材を取付けてください。
( 雨樋の組立て参照)

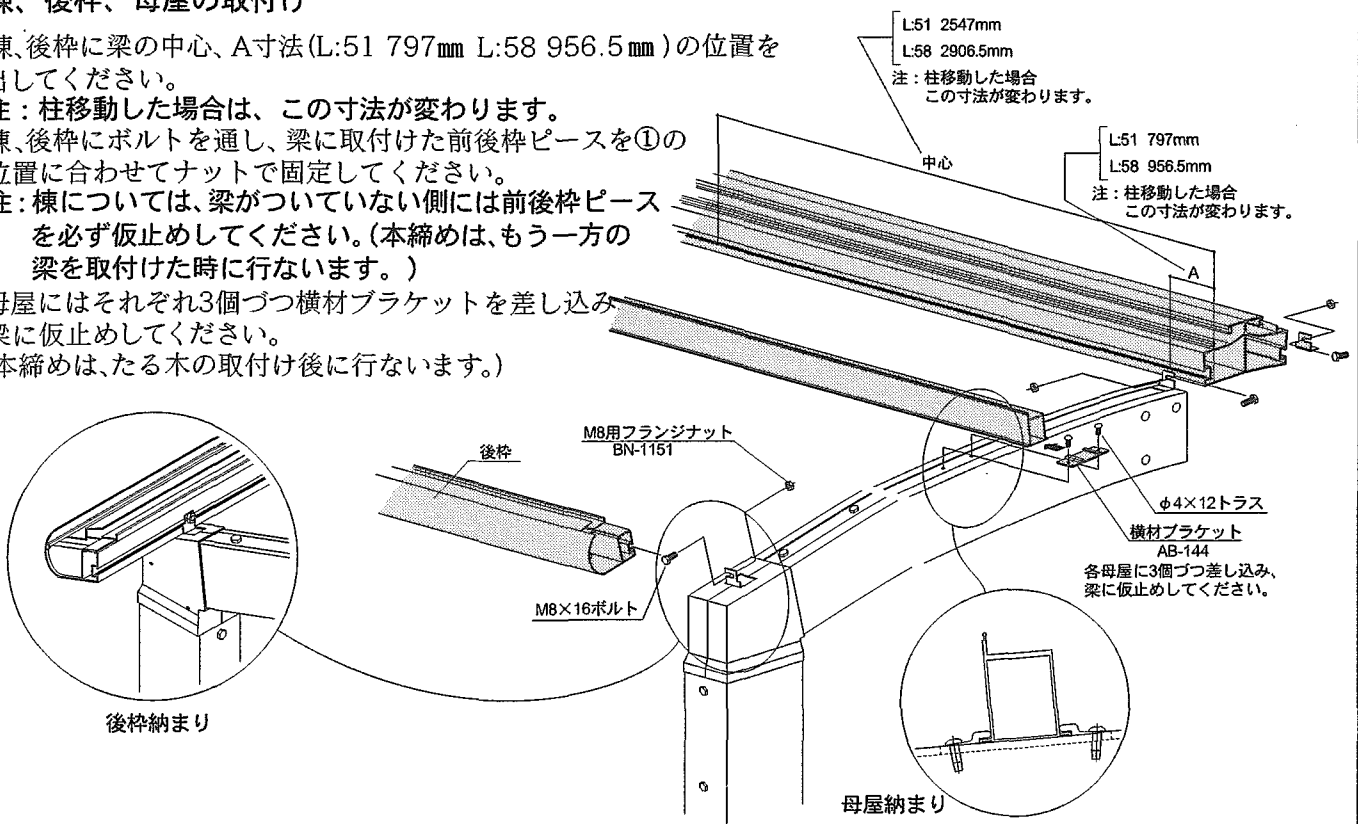


この部分も、コーキング材を充填してください。



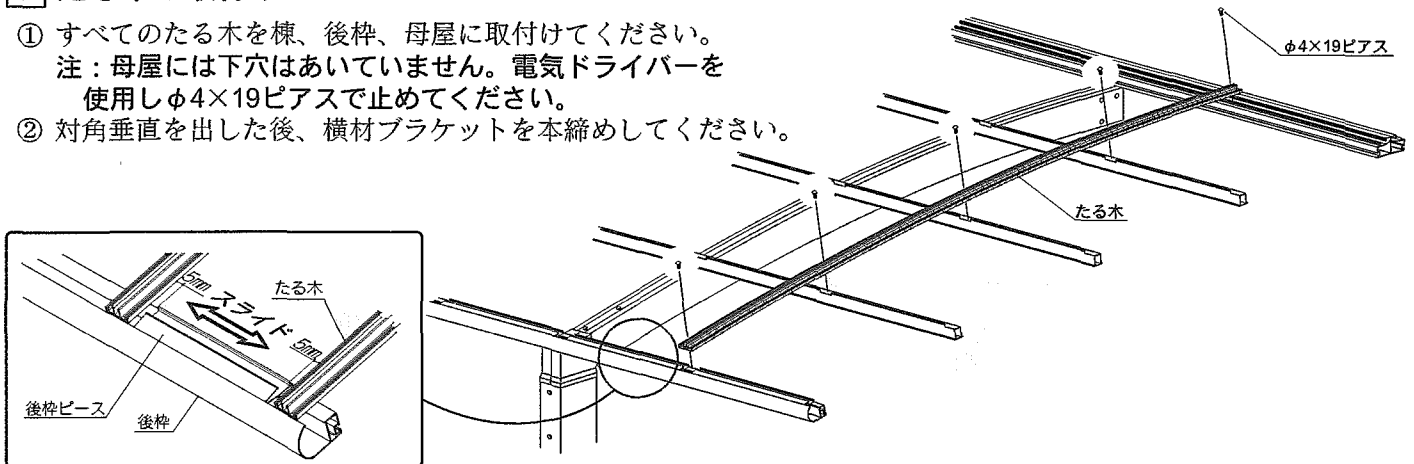
6 棟、後枠、母屋の取付け

- 棟、後枠に梁の中心、A寸法(L:51 797mm L:58 956.5mm)の位置を出してください。
注：柱移動した場合は、この寸法が変わります。
- 棟、後枠にボルトを通し、梁に取付けた前後枠ピースを①の位置に合わせてナットで固定してください。
注：棟については、梁がついていない側には前後枠ピースを必ず仮止めしてください。(本締めは、もう一方の梁を取付けた時に行ないます。)
- 母屋にはそれぞれ3個ずつ横材ブラケットを差し込み梁に仮止めしてください。
(本締めは、たる木の取付け後に行ないます。)



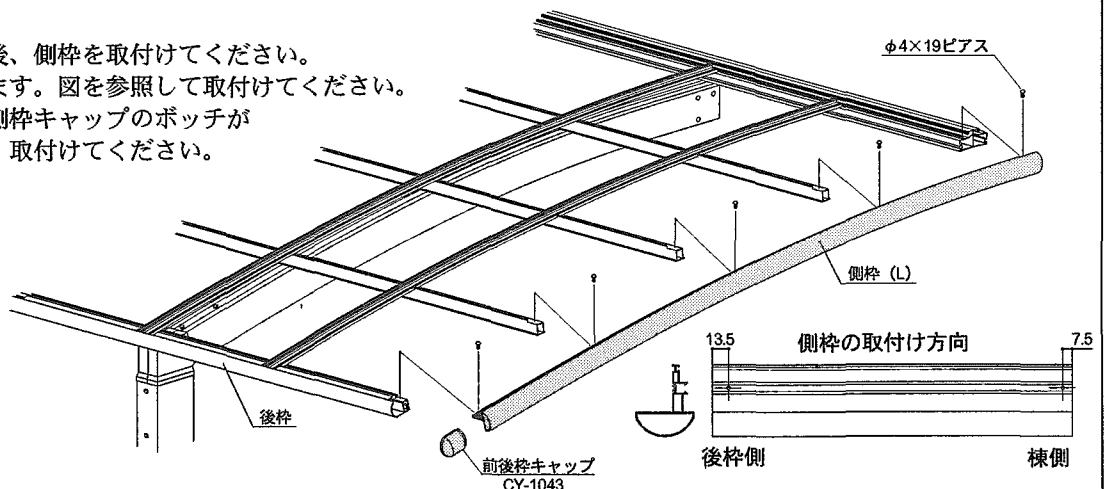
7 たる木の取付け

- すべてのたる木を棟、後枠、母屋に取付けてください。
注：母屋には下穴はあいていません。電気ドライバーを使用しφ4×19ピアスで止めてください。
- 対角垂直を出した後、横材ブラケットを本締めしてください。



8 側枠の取付け

- たる木をすべて取付けた後、側枠を取付けてください。
注：側枠には左右があります。図を参照して取付けてください。
- 側枠キャップを側枠に（側枠キャップのポッチが側枠の穴にはいるように）取付けてください。

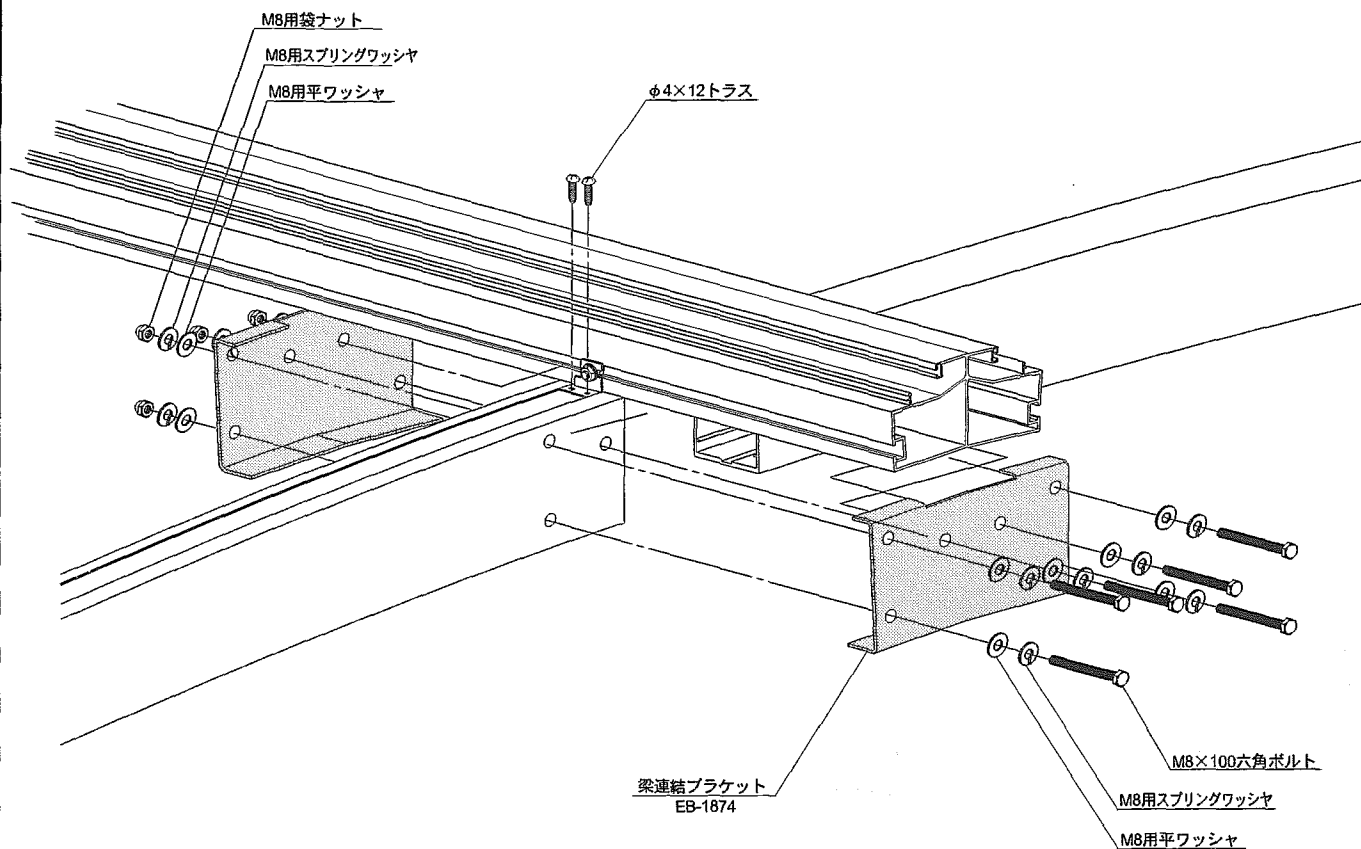


◆もう一方の本体の組立

- ①～⑧の組立て手順にて再びもう一方の本体の骨組を行ないます。

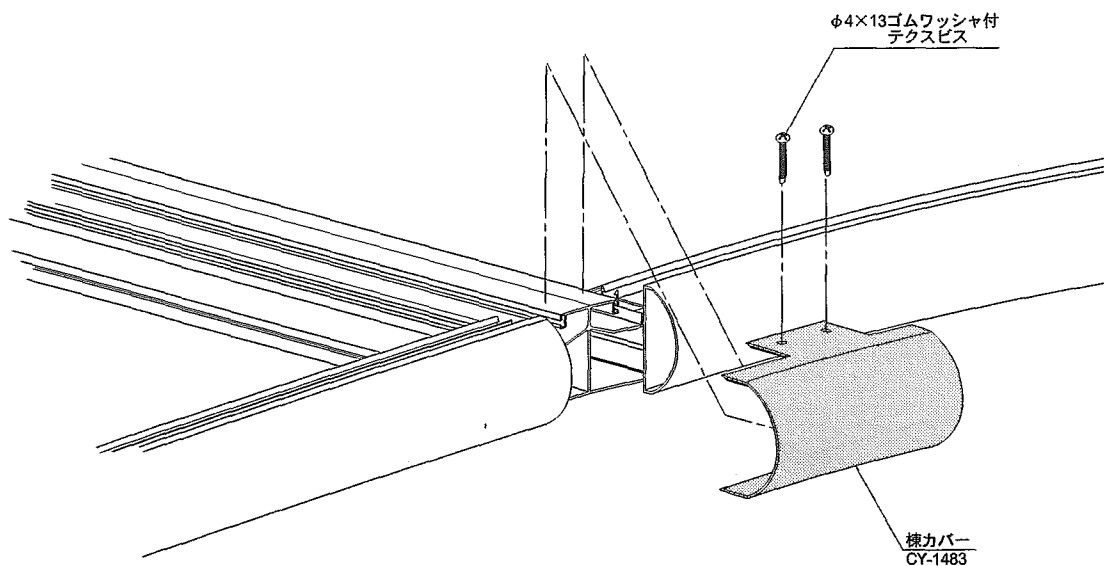
9 梁の連結

- ①棟に仮止めしている側の前後枠ピースを本締めしてから、 $\phi 4 \times 12$ トラスで梁に固定してください。
- ②両側の梁を梁連結ブラケットにてボルト、ナットで固定してください。



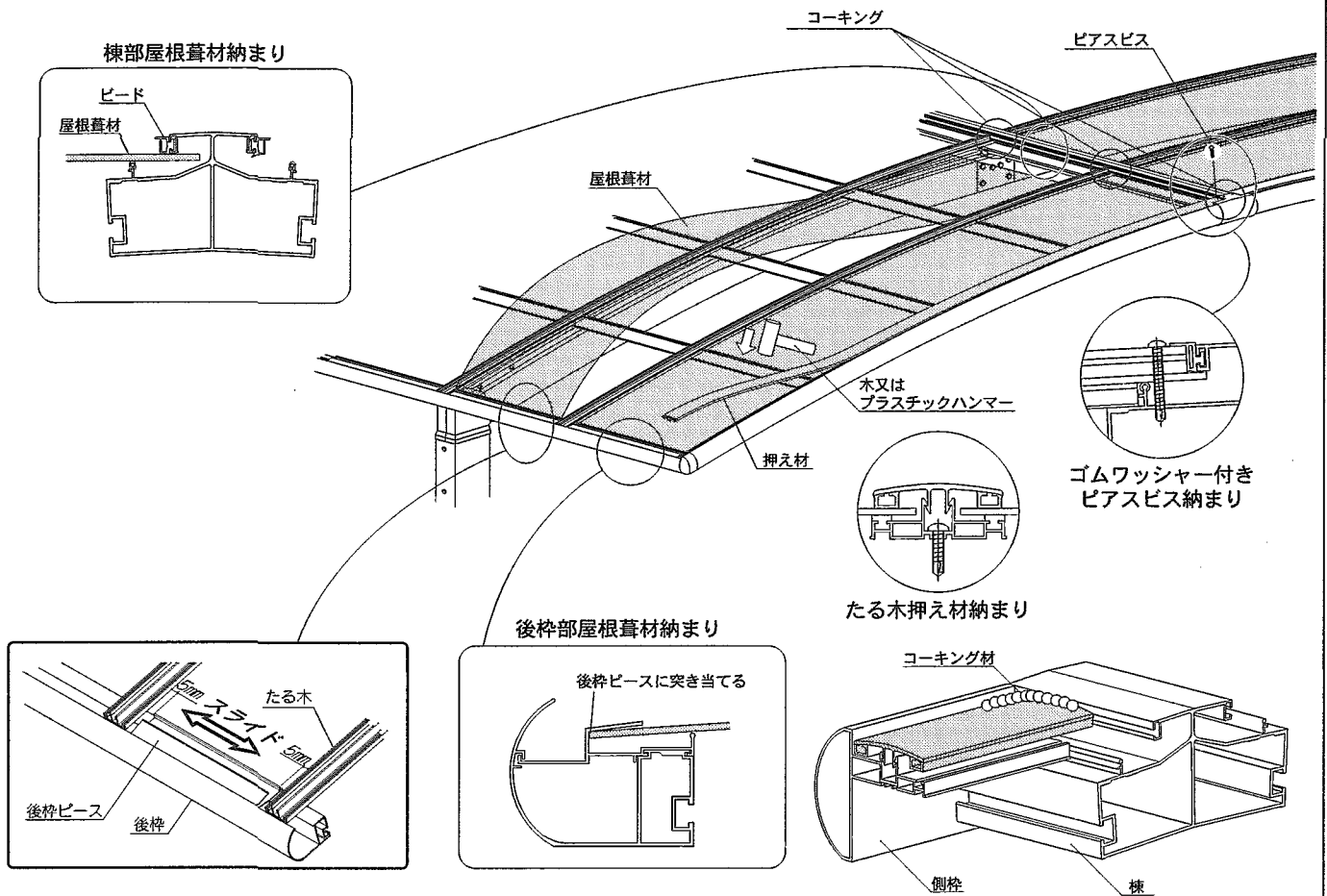
10 棟カバーの取付け

- ①棟の両端部へ、V溝に合わせて棟カバーを $\phi 4 \times 13$ ゴムワッシャー付きテクスビスで止めてください。
(棟に孔加工はありません。)



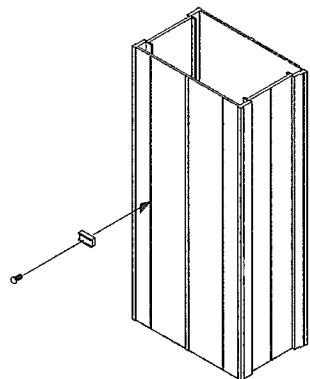
11 屋根葺材及び押え材の取付け

- ① 後枠ピースをたる木とたる木の真中にくるよう調整してください。
- ② 屋根葺材は図のように、先に後枠ピースに突き当たるまで差し込んでから棟に入れてください。
- ③ 押さえ材を棟のビードに押し当て、棟側から木又はプラスチックハンマーでたたきこんでください。
注：途中浮いているところがないよう確認しながら行なってください。
- ④ 各押え材を図の位置にφ4×35ピասビスで棟にビス止めしてください。
- ⑤ 右図を参照して棟側コーナー部及び、前枠と全ての押え材の接合部にコーキングを施してください。
注：ビードと押え材のすき間をうめる様にコーキングしてください。

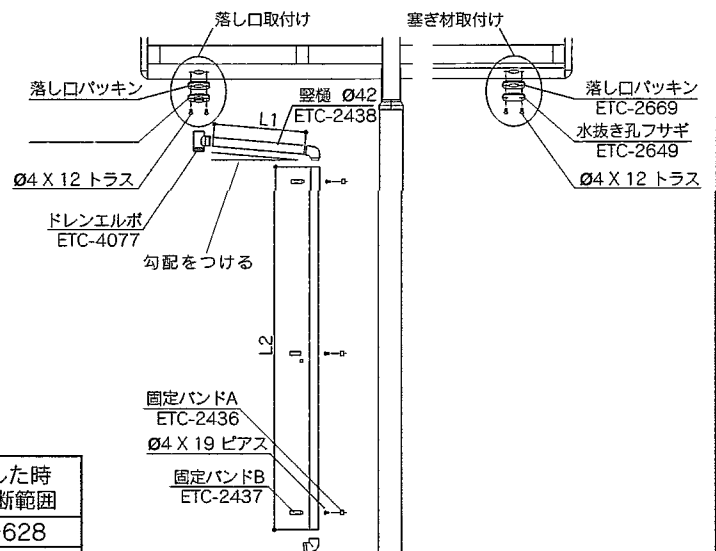


12 雨樋の組立て

- ① 縦樋の長さ (L1、L2) は現場に合わせて切断してください。
- ② 雨樋は仮組みしてから接着剤を使って組み立ててください。
- ③ 使用しない側の孔には水抜き孔塞ぎを取付けてください。
注：横樋（縦樋の横方向部分）は勾配をつけてください。
注：固定バンドは図のように柱の溝にピասビスで止めてください。

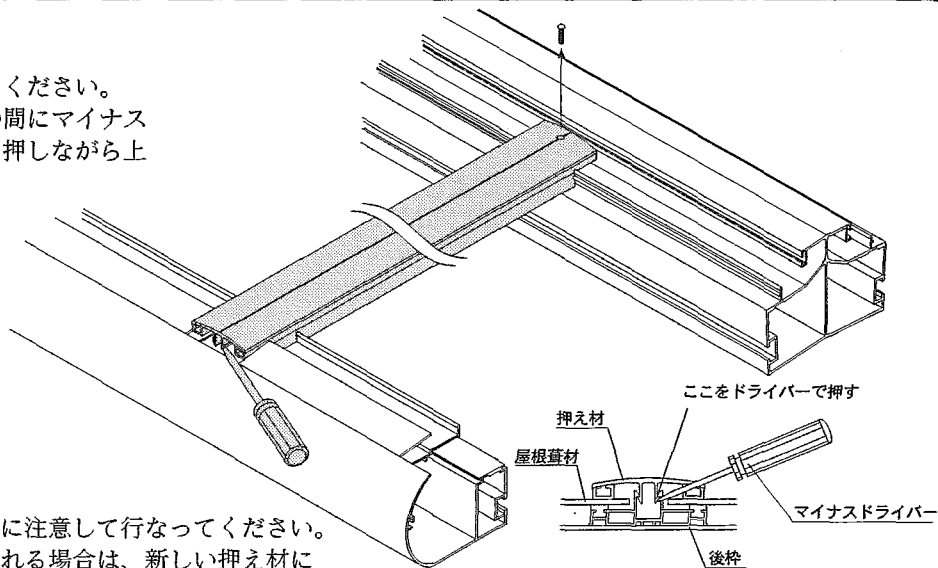


	標準柱位置 でのL1	柱移動した時 のL1切断範囲
L: 51	528	429~628
L: 58	678	587~787



A 屋根葺材の補修方法

- ① 押え材を前枠に止めているビスを外してください。
- ② 図のように後枠側から押え材とたる木の上にマイナスドライバーを差し入れ、押え材のツメを押しながら上に持ち上げるようにはぎ取ります。



- ・ 押え材が途中で折れることのないように注意して行ってください。
- ・ 一度折れ曲がったり形状に異常が見られる場合は、新しい押え材に交換してください。